

皆さん、こんにちは!

皆さん、こんにちは! 自粛生活は、うんざりでしょうね。テレビでは、今は懐かしい歌手の若かりし頃の歌番組やスポーツの名場面などを繰り返し放映しているのが目につきます。当たり障りのない物を使って、気を紛らわしてくれていると思うと、頭が下がりますね。



先月中ば過ぎからは農作業も佳境に入り、スイカの植え付け、田植えなどに農家の方々が一生懸命に励んでおりましたし、ホームセンターの店先には、様々な苗木が所狭しと並んでました。雪が少なかった冬の後で、農作業も早まるのかな?と思ったのですが、ある患者さんが、土の温度が上がらないので作業が進まないと言っていたのを思い出しました。



ところで、コロナウイルスは、全体的には勢いをそがれた軍団という感じですが、いつまた勢いを盛り返すかという恐れがあるため、十分な警戒が必要です。目に見えない敵に曝されるなんて誰もが考えていなかったはずです。

国会の中継のなかで、“火事場泥棒のような・・・”との発現が野党党首から発せられました。国民の代表である安倍首相に対してです。ご存じのように、コロナ対策で生活も儘ならない人々が沢山いて、その人たちへの対応策は声高に発せられるが、実際には2か月後に実行されるなどとの内容でした。そんな中で、2年後より施行される、まったく急ぎでもない検察法改正案を国家公務員の定年改革案に抱き合わせて、基準内容が何も決まってない白紙状態のままです。私は、“さもない人のやること”と声を大にして言いたいです。国のトップがする事では無いでしょう。長期政権がもたらす典型的な驕りそのものようです。恥ずかしいことですね。

治療法が出来るまでは、コロナより離れて暮らす工夫をして、明るい明日につなげましょう。

皆さんなら出来るから・・・。



令和2年6月12日

院長 清治 邦夫